

## 下北森林管理署モニターによる国有林の視察

当署では、国有林モニターで管内在住の方の中から「下北森林管理署モニター」を依頼しています。

署モニターの方々には、年2回の現場視察や署主催行事への参加をご案内し、国有林の現場を知っていただくと共に、ご意見やご要望をお聞かせいただいているところです。



(保存林を目指すモニター)



(カツラ巨木)

7月24日に開催した第1回目の国有林視察では、大間町にある「二股山ケヤキ林木遺伝資源保存林」の視察を行いました。この保存林は、大間町がケヤキ自生の北限地となっていることから、その保存を図るため昭和63年に設定したものです。

当日は雨も心配されましたが曇り空でおさまり、ヒバ林の散策を楽しみながら、30分ほどかけてケヤキとカツラの巨木に到着しました。モニターの皆さんには、国有林ならではの生態系の保存の取り組みに感動していただきました。

署モニター制度は、地域の方々に国有林の管理・経営に対する理解を深めていただく機会であるのと同時に、様々な視点から職員が気づきにくいアイデアなどを提言いただける場でもあり、開かれた国有林への取り組みの一環として今後も継続していく予定です。



(ケヤキの前で記念撮影)